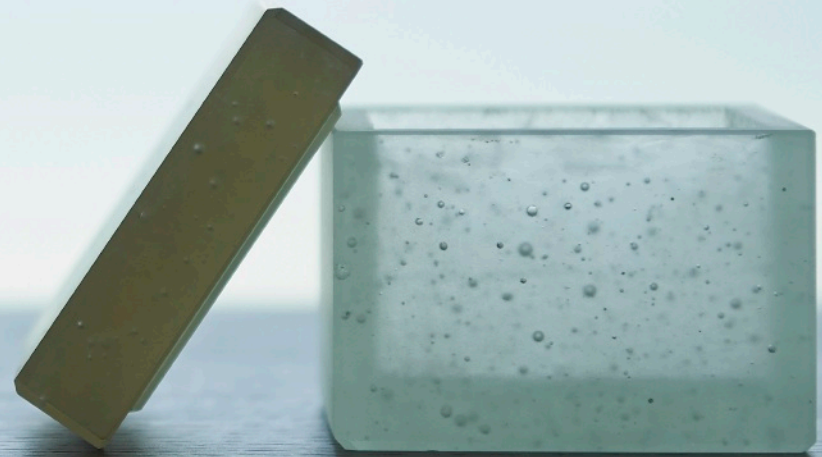


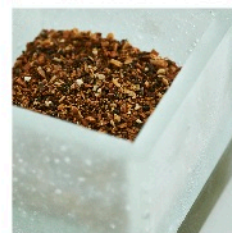
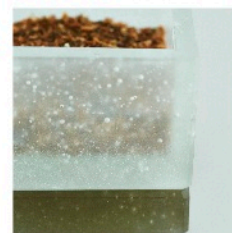
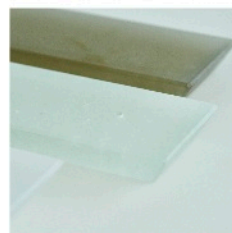
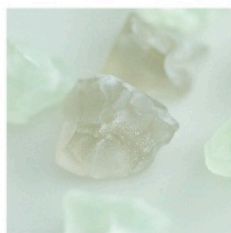
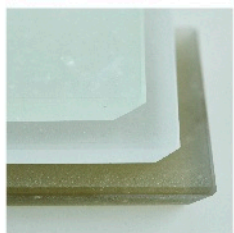
か
の
友

All About Japanese Incense

ISSUE 02 SUMMER 2014



肌寒くなり始めた昨年の初秋、冷たさと温かさという二面性が同居する質感のガラス加工技法と出会いました。ガラスを分厚く加工することやエッジをきれいに出すことに長けたキルンキャストという技法です。kirihiroシリーズではその技法を用いて「香皿・香立・かおり箱」の三種類を製作しました。雨なのか空気なのか不確かな霧のような空気感を持ち、淡く曖昧な色合を複雑に含んでいます。かおり箱は用途においても二面性を持ったアイテムです。常温でも香りを出す香料をブレンドしたものをに入れて使用しますが、(一)蓋を開ければあたりにその香りを漂わせ(二)閉めれば香りを出さない香合(非オブジェ)としてそこに存在します。中に入れる香料は少なくとも三か月以上香りを持続し、火を使用する必要も無い為扱いが非常に容易です。白檀や桂皮など天然の香料をブレンドし、その香りを常温で楽しむ方法は平安時代の昔からありました。室町時代には書院造が発案され、その床の間の室礼として書画、花、そして香合を飾り付けるという様式ができました。和の香りの文化が育まれた二つの時代を背景に持つアイテムを、現代の生活空間に取り入れられてはいかがでしょうか。



A New Line of Kiln Glass for Incense

For many of us, glass may be associated with coolness and use in summer. However we believe this kiln glass expresses both a sense of coolness and warmth. It shows many faces depending on light, weather or seasons, and it fits our concept of the new kirihiro line to be universally appealing. It consists of three varieties: iceberg-shaped tiny incense stands, flat and edgy incense plates and thick cube boxes to hold incense chips inside. As for the box, the aroma comes out when you open the lid and when closed the aroma stays inside. It is one of the great ways to decorate your room with relaxing Japanese scent throughout the year.



- 1 かおり箱 ¥8,800 W70×D70×H70
- 2 香皿 長 ¥3,300 W145×D50×H13
- 3 香皿 角 ¥3,900 W105×D105×H13
- 4 香立 ¥800 W20×D20×H15
- 5 香皿 丸 ¥3,600 Φ110×H13

「kirihiro」すべて紙箱入り税抜価格
 白・白緑・柳茶3色展開。
 かおり箱の本体と蓋の色の組み合わせは
 ウェブサイトでご確認ください。中に入れる
 香料は別売。多種のブレンドから選べます。
 20g 袋入 各¥700～¥1,500程度。



incense project 02

親子で学ぼう！かおりの学校 かおり箱をつくろう

香料ってなあに？
まずはクイズで学びます

香りに関する興味を皆で深めるプロジェクト、第二回のテーマは「親子でオリジナルのかおり箱をつくろう」。PTAの方々にご協力いただき、近くの小学校で実施しました。二十人くらいかな・・・の予想をはるかに超える五十人もの方々が急遽場所を変更し、にぎやかな二時間のはじまりです。まず、香料についてクイズです。みんな知ってるラーメンの写真を覚えてもらい、「この中で香料はどれ？」一圧倒的に多い「胡椒」の回答。香料の概念はなんとなく理解しているようです。「香料は主にどこでとれるでしょう？」「香料が日本に来たのはいつ？」「飛鳥・平安・室町、各時代でどのように使われた？」などもクイズ形式で楽しく学んだあと、お待ちかね、香料のブレンドです。

香りを覚えながら
天然香料をブレンド

まずはひとりひとつ箱をもち、基本のレシピに従って八種の香料を入れていきます。インド名産で代表的な香木の白檀、シナモンとして知られる桂皮。中華料理でよく使われる大茴香、カレー



に欠かせない鬱金、今はお酒のおともにも有名ですね。お肉料理やホットワインにも使われる丁香、香色のもとです。薄荷のようにすーっとする天然龍脳など。日本ではとれないものばかり。でもこれらはすべて古来より和の香りとして使われてきた香料です。スプーン一杯だったり、耳かき一杯だったり、香りの強さによって量はさまざま。初めての香り、よく覚えてもらいます。ひとつひとつの匂いは、「うっっ・・・」なにこれー！と言いつつも、基本のレシピに従ってぜんぶまぜていくと、あら不思議。なぜかいいかんじの香りになります。まろやかにまとまるのです。次に、親子で相談しながら好きな香料を少しずつ足して、自分だけの香りが完成。お友達と比べあって、嬉しそうです。

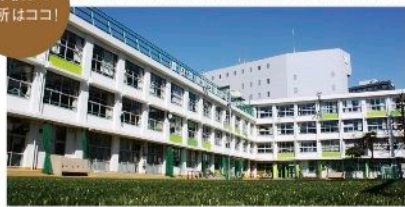
十八十色の
「かおり箱」できました

最後に、いろんな和紙や折り紙、カラーペンを自由に使って、真っ白な箱を自由にデコレーション。大人も子供も創作に夢中であっという間に時間がすぎていきます。できあがった力作たちは、短時間で、こんなにも！と驚くほど個性にあふれています。製作見本を最初に見せましたが、皆それとは全然ちがうものを作り出してくれました。夏と秋の色を表した子、





体験した
場所はココ!



東京都港区立東町小学校 [南麻布]

創立100周年を迎えた地元で愛される公立小学校。全学級が国際学級という全国初の画期的な制度のもと、様々な国籍の子供たちで賑わいます。月に約一度ある「日本文化の時間」では、茶道・将棋・和太鼓・そして香道を学びます。

〒106-0047 東京都港区南麻布 1-8-11

TEL 03-3451-7726 麻布十番駅1番出口徒歩5分

www1.r4.rosenet.jp/higashi-es/

Learn About Incense and Make Your Own!

As our second incense project, parents and kids made unique kaori-bakos (incense boxes). The lively event included 50 participants gathering at a nearby elementary school. After a fun quiz about Japanese incense, participants blended 8 kinds of incense materials according to a recipe, adjusting the recipe to personal preference. All of the materials used are 100% natural, with a history of having been imported to Japan dating back more than 1,500 years. The boxes were then decorated with each design expressing the unique taste of the participant. The children participants remarked that although the fragrance was unfamiliar to them, it evoked a pleasant response, and a nostalgic one to most parents.

ちぎってべたべた貼って立体的にした子、民芸調の柄を選んだ子、女の子らしいお花をのせた子、サイケデリックな色づかいの子、youth風にした子(ー)・・・そもそもみんなちがう個性。でもその上にきくと、無意識に香りから影響を受けた結果が反映されているのだと思います。できあがった作品を机に並べ、親子みなさんで楽しく観賞しました。

和の香りを次世代に

大人にとって、和の香りは「なつかしい香り」「いい香り」ということが多いです。子供にとって和の香りは「なじみのない香り」だと思いますが、天然香料のやさしい香りは子供たちにも受け入れられたようです。香りは記憶と密接に結び付くと言われます。人工的な強い香りが色々と溢れる現代ですが、大人になつてこの日の香りが「なつかしい香り」となつて思い出されるといいなと思います。

次回は、平安貴族のレシピにならない、練香をつくるプロジェクトを予定しています。どうぞお楽しみに。

今回と同様のイベントを、七月十二日(土)銀座のAKOMIYA TOKYOさんで実施します。詳しくはEVENTS SCHEDULEをご覧ください。



根津美術館 外観 (c) 藤塚光政

東京・青山、骨董通りを抜けた閑静なエリアに位置する根津美術館さん。実業家・初代根津嘉一郎氏が蒐集した日本・東洋の古美術品を保存・展示するため 1941 年に開館。増改築を重ね、2009 年には隈研吾氏の設計で和風かつ現代的な建築に生まれ変わりました。国宝 7 件を含む約 7,400 件の所蔵品は、絵画・書蹟・青銅器・茶の湯美術など多岐に渡り、年 7.8 回の精力的な展示を開催。約 17,000m² の広大な庭園には 4 棟の茶室があり茶会などで利用できます。タイミングがよければ多くの着物姿を目にすることも。所蔵品の目玉のひとつ、尾形光琳の国宝「燕子花図屏風」の展示時期には、庭池に本物のカキツバタが咲き誇ります。緑に囲まれた NEZUCAFÉ や、充実したショップも併設。香雅堂製作のオリジナル香「光琳」「那智」なども扱っていただいています。7/13 まで「カラフルー中国・明清工芸の精華ー」展が開催中。古美術と美しいお庭に囲まれて、都心にいることを忘れるような非日常のひとつときをお過ごしになってはいかがでしょうか。



庭園内の茶室「弘仁亭」

根津美術館 nezu museum
〒107-0062 東京都港区南青山 6-5-1
TEL 03-3400-2536 10:00-17:00
年末年始・展示替期間・月曜休館
地下鉄 表参道駅 徒歩約10分 www.nezu-muse.or.jp

香にまつわる

一品逸品

井戸香炉 銘此の世

根津美術館蔵 朝鮮王朝時代 名物 重要美術品
高七・五センチ 口径七・五センチ 底径五センチ

いわゆる塩筒形の小壺で、摘み上げたような無造作な鈕を持つ平らな蓋を伴っている。素地、釉調、作行が井戸茶碗と同様の珍しい香炉である。利休所持として知られ、後に織部、後水尾天皇、遠州から伊達家に伝世し、昭和五年（1930）に根津嘉一郎が所持するところとなった。（以上「根津美術館蔵品選 工芸編」より抜粋）

袴腰香炉をはじめ香炉は三本脚であることがほとんどですが、珍しいことに本品にはそれがありません。朝鮮の日常雑器を茶碗として見立てたように、塩や味噌を入れた壺Ⅱ塩筒らしきものを香炉と見立てた先人の審美眼に驚かされます。高さと同口径がともに七・五センチという大きさは、香道の諸流派で使用される間香炉のそれとかなり似通っています。間香炉が置香炉、利休はどちらのつもりでこの香炉を見做したのでしょうか。想像が膨らみます。



硝子のこつ

教えてください

今回特集した硝子の新商品は、「キルンキャスト」という技法でつくられています。製作者である硝子企画舎の井上さんにその工程や魅力をお聞きます。

Q キルンキャストって？

硝子の成形技法のひとつで「電気炉 鑄造法」のことです。キルン窯という意味で、窯で焼いて成形や装飾をする方法全般をキルンキャストと呼びます。基本的な工程は、色形・制作の流れを決定↓粘土・発泡スチロールなどで原型を作成（写真①）↓耐熱石膏で型取り↓石膏の中の原型を取り出す↓硝子の材料（カレット）を詰める（写真②）↓電気炉（窯）で約800〜900度で焼成（写真③）↓常温に冷めたら石膏を割り硝子を取り出す（写真④・⑤）↓数段階の粒度で研磨（写真⑥）↓完成となります。

Q どんな特徴が？

最もよく知られている「吹き硝子」はホットワークと呼ばれる別の技法で、生産性が高く、グラスや器のような薄造りのに適します。工夫今回のキルンキャストは、工程が多く手間がかかるので大量生産には向きませんが、用意する原型通りにできあがるので、望み通りの精密な造形が可能です。硝子企画舎ではキルンキャストを得意としており、今回の「Enio」シリーズのように、均一に分厚く、エッジをきれいに出した箱などの造形が実現できるのは、キルンキャストの特徴です。

Q 型は壊してしまっ？

はい、スチロールも石膏型も、一度きりの寿命です。つまり100枚の香皿を作るには、1000枚のスチロール原型と、1000枚分の石膏型が必要です。

Q 完成までにかかる時間は？

用意した原型の石膏取りをして自然乾燥に二〜三日、焼成行程では窯入れから窯出しまで小さいもので二〜三日、大型作品には数週間かけることもあります。一般的な硝子は急激に冷ますと割れてしまう可能性があり、じっくりと時間をかけて冷まします。研磨作業では、一個当たり十〜三十分の工程を四〜五段階かけて仕上げます。研磨は熟練度によってスピードが大きく異なる腕の見せ所です！

Q そもそも硝子って？

定義としては「常温で固化状態にある無機化合物の液体が過冷却状態になったもの」。要は限りなく固まっているように見える液体。歴史は古く、古代メソポタミア・エジプトから、キルンキャストの基となる美しい製品が多く出土しています。古代ローマで吹き硝子が誕生するとその生産性に圧倒されキルンキャストは一度すたれましたが、十九世紀に復活。その後、アメリカ・オーストラリア・日本という伝統的硝子文化の無かった新しい土壌を中心に、比較的小規模な設備での製作も可能なキルンキャストは発展を見せています。

Q 井上さんの活動は？

作家としての製作や、受注生産、レッスンや大学での講義、ギャラリー運営などを行っています。ここにくれば硝子のがなんでも解決するような「駆け込み寺」的存在として、硝子企画舎のつながりを広げていきたいです。

What is Kiln Glass?

Kiln glass artist Tsuyoshi Inoue gave us an informative presentation about kiln glass, one of the methods of producing glass. Brief procedures are: making a prototype, plaster casting, filling the mold with glass, burning it in the kiln, breaking the mold and grinding. Taking much time to complete, it is not suitable for mass production but this method makes it possible for us to create elaborate, edgy or uniformly thick forms as you plan. Therefore kiln glass is nowadays often adopted by individual glass artists. Inoue envisions his studio expanding in the future to collaborate with other types of glass artists and those interested in hand crafted glass.

Who talks?

井上 剛 tsuyoshi inoue
130年の歴史を持つ近江八幡の硝子工場「びんや」四代目の四男として生まれ、大阪芸大、富山ガラス造形研究所を経て2002年金沢にアトリエ設立。東京に移転し「硝子企画舎」開始。現在の錦糸町のアトリエに併設のギャラリー「プリズムプラス」では頻繁に展示も。夫人の枝利奈さんも硝子作家。
www.garasukikakusya.com

NEWS & REPORT

❖ 香雅堂、8月に2階を改装予定！

改装中は、イベントやお稽古が開催できずご迷惑おかけします。今後、より快適にお使いいただけるように構想中です。正確な日程は決まり次第ウェブサイトでご案内します。

❖ 「茶道の入口をのぞく」イベントレポート

茶道表千家の先生を迎え、初めての方向けの茶道イベントを開催しました。お話を聞きつつ「とにかくまずはやってみよう」という精神で、席入りをして床の間を拝見したり、点前の方までお茶碗をとりにいったり、菖蒲の主菓子をとりまわしたり、内容盛りだくさんの賑やかな会になりました。ご参加の皆さま有難うございました。



❖ 新商品「もんこうことはじめ 間香事始」

間香を楽しむための基本的な道具一式をそろえた「間香事始」を新たに発売いたしました。香炉は香雅堂オリジナル粉引間香炉2色より選択可能で、香木も2種（沈香・白檀）セットに。詳しい手順も記載してありますので、これさえあればご自宅手軽に間香を始めていただけます。

桐箱入で持ち運びやギフトにも。内容物など詳細はオンラインストアをご覧ください。



記憶のなかの香り



Yerba Mate on the Other Side of the Planet

れいりょうこう
「零陵香って、マテ茶みたい！」今回の incense project である小学校での香料ブレンド中のお声。確かにどちらも緑の植物を乾燥させたもの。ほろ苦く濃いめの緑茶のような香りです。マテといえば思い出すのは一昨年訪れた南米アルゼンチン南端の町ウシュアエア。ティエラデルフエゴ国立公園に向かう乗合バンで、運転手さんたちが木製カップにマテの葉を入れ、お湯を注いで金属製のストローで回し飲みしていた情景。その後実際にマテを飲んでみた荒涼とした海辺のレストラン。地球の裏側の、遥かなる香りです。

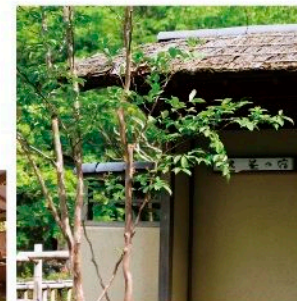
EVENTS SCHEDULE

香雅堂が主催する今後のイベント情報をお知らせします

1 志野流香道体験席 - ほしあいこう 星合香 -

創業 120 年を数える旅館「日光 星の宿」で七夕当日、牽牛と織女にちなんで「星合香」を開催。お香と温泉と湯葉懐石で、極上の時間をお過ごしにはいかがでしょうか。東照宮までも徒歩圏内の見晴らしのいいロケーションで日光散策も楽しめます。

- とき 7/7 (月) 11:00-12:30
- ところ 日光 星の宿
- プラン 日帰り(昼食付) / 宿泊(朝夕食付)どちらも可
- ご予約 日光 星の宿 0288-54-1105
www.hoshinoyado.com



2 親子で学ぼう！かおりの学校 - かおり箱をつくろう -

親子で和の香りをブレンドし、玄関やお部屋に置いておくとふわり香るオリジナルの「かおり箱」をつくります。使うのは 1500 年前から親しまれてきた白檀や丁香など天然の香料。香料についてのクイズや、和紙デコレーションをしながら親子で楽しく学べるイベントです。

- とき 7/12 (土) 13:00-14:00 / 15:00-16:00
- 定員 各回ペア 10 組
- ところ AKOMEYA TOKYO (銀座) 3F イベントスペース
- 参加費 ペアで 1,080 円 (税込)
- ご予約 AKOMEYA TOKYO ウェブサイト www.akomeya.jp



3 香道の入口をのぞく - 体験香席 -

室町時代から続く三大芸道の一つ・香道を体験いただけるイベントです。香道や香木の歴史等をわかりやすく説明したのち、季節に合ったくみこう組香をいたします。香道が全く初めての方が対象です。

- とき A 7/12 (土)、9/27 (土) 10:10-12:00
B 7/23 (水) 19:00-21:00
- ところ 麻布十番 香雅堂 2F
- 定員 AB 各日 12 名
- 参加費 3,000 円 (税込)



4 ワークショップ - もんこうろう 間香炉で香木を焚いてみよう -

飛鳥時代より珍重されてきた沈香・白檀などの香木。ご自宅でも簡単な方法で本格的な香木の香りを楽しんでいただけるように、一人ひとつ香炉を使いながら、実際に焚いていただきます。以前体験香席に参加された方にもおすすめ。

- とき 9/17 (水) 19:00-20:30
- ところ 麻布十番 香雅堂 2F
- 定員 7 名程度
- 参加費 3,000 円 (税込)



③④ のお申し込み・お問合せ ▶ 香雅堂 TEL 03-3452-0351 (10:00-19:00) 日・祝日休
より詳しい情報や、最新情報はウェブサイトにて順次おしらせします。 www.kogado.co.jp

ABOUT US

和の香りをもっと身近に感じていただけるように、繊細で奥深い日本独自の香りの文化を広く知っていただけるように—そんな想いから、香の伝統に新しい感覚と視点でアプローチする季刊ニュースレター「かおりの友」を発行していきます。

〈次号のご案内〉 静謐な雰囲気醸す陶磁器の香皿、かおり箱、花器をご紹介します。作家さんのインタビュー、平安貴族のレシピで練香をつくるプロジェクト、関連イベントもご案内します。9月下旬発行予定です。

We are happy to announce our second edition of "Kaori-no-tomo", Kogado's newsletter introducing Japanese traditional incense culture from a contemporary perspective. It will be published 4 times a year in Japanese with summarized English translations included. If you have any inquiries or requests feel free to contact mail@kogado.co.jp.



麻布 香雅堂は、京都の老舗薫香原料輸入卸元「山田松香木店」の七代目次男が、1983年に独立し麻布十番に構えた店舗です。

1F

日本三大芸道のひとつである香道や、飛鳥時代より親しまれている和の香りに関する商品を幅広くご紹介しています。

〈取扱い商品〉 香木、香道具、工芸品、線香、香袋等

2F

和室では香道・茶道などの定期的なお稽古や、お香を中心として広く「和」にまつわるイベントを実施しています。ご要望に応じて個別開催も承りますのでお気軽にお問い合わせください。

その他最新情報はウェブサイトをご確認ください。
Visit our website for latest information.



香

麻布 香雅堂

KOGADO Co., Ltd. www.kogado.co.jp
TEL 03-3452-0351 FAX 03-3452-0661

3-3-5 Azabu-juban, Minato-ku, Tokyo 106-0045, Japan
open 10:00-19:00 closed on Sundays & national holidays



東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線「麻布十番駅」
1番出口より徒歩1分
one minute walk from Azabu-juban Station Exit 1
(Namboku or Oedo Line)